

【HySecure】アップグレード方法について

2026/09/17 19:04:58

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::02. インストール、アップグレード	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/09/11 - 11:23:08

キーワード

パッチ適用

症状 (公開)

問題 (公開)

解決 (公開)

【はじめに】
ご利用中のバージョンをご確認ください。
HySecure管理コンソール > Monitor > Dashboard のヘッダ部右の「Gateway Version」をご確認ください。
現在の最新バージョン、および、最新のセキュリティホットフィックスをご確認ください。

[1] Accops製品の最新リリースバージョン
バージョンごとのアップグレード互換性は、各バージョンのリリースノートをご確認ください。
なお、アップグレード互換性は以下のFAQにもまとめているので、アップグレードパスの確認にご利用ください。

[2] 【HySecure】アップグレードの互換性について
アップグレードパスの例
例えば、HySecure 7.0から、HySecure 7.2 SP2 へのアップグレードパスは以下となります。
HySecure 7.0 -> HySecure 7.2 -> HySecure 7.2 SP1 -> HySecure 7.2 SP2

セキュリティホットフィックスについて
HySecureは、OSレベルのセキュリティ脆弱性に対応するための
セキュリティホットフィックスが別途リリースされています。
アップグレードと合わせて、セキュリティホットフィックスも適用することが推奨となります。

HySecure 5.4 と HySecure 7.x は互換性がないため、直接アップグレードはできません。
マイグレーション方法については、以下をご参照ください。
[3] 【HySecure】HySecure 5.4 から HySecure 7へのマイグレーション方法

【クラスタ構成でのアップグレード】
クラスタ構成のHySecureでは、以下の順でアップグレードします。
HySecure アクセスノードのアップグレード ※アクセスノードがない場合はスキップHySecure スタンバイノードのアップグレードHySecure
アクティブノードのアップグレード

【アップグレード手順】
HySecure アクセスノードのアップグレード
※アクセスノードがない場合はスキップアクセスノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを有効化する。
Settings > Cluster > Manage > Enable Maintenance Mode 対象のファイルを選択し、対象のパッチを適用する。
Settings > General Settings > Firmware Upgrade
注意：複数パッチを適用する場合は、HySecure管理コンソールからログアウトせず、
一つのパッチ適用が完了後に、続けて適用してください。
パッチを適用すると、アクティブノードとはバージョン差異が発生するため、
アクティブノードへのパッチ適用が完了するまで、このHySecure管理コンソールへはログインできなくなります。

HySecure
スタンバイノードのアップグレードスタンバイノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを有効化する。
Settings > Cluster > Manage > Enable Maintenance Mode 対象のファイルを選択し、対象のパッチを適用する。
Settings > General Settings > Firmware Upgrade
注意：複数パッチを適用する場合は、HySecure管理コンソールからログアウトせず、
一つのパッチ適用が完了後に、続けて適用してください。

HySecure
アクティブノードのアップグレードアクティブノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを有効化する。
Settings > Cluster > Manage > Enable Maintenance Mode 対象のファイルを選択し、対象のパッチを適用する。
Settings > General Settings > Firmware Upgrade
注意：複数パッチを適用する場合は、HySecure管理コンソールからログアウトせず、
一つのパッチ適用が完了後に、続けて適用してください。

HySecure
アクティブノードのメンテナンスモード解除アクティブノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを無効化する。
Settings > Cluster > Manage > Disable Maintenance Mode.

HySecure
スタンバイノードのメンテナンスモード解除スタンバイノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを無効化する。
Settings > Cluster > Manage > Disable Maintenance Mode.

HySecure アクセスノードのメンテナンスモード解除
※アクセスノードがない場合はスキップアクセスノードのIPアドレスを指定して、HySecure管理コンソールへログインする。メンテナンスモードを無効化する。

Settings > Cluster > Manage > Disable Maintenance Mode.

【公式Webヘルプ】

詳細については、以下の公式Webヘルプをご参照ください。

[4]Upgrading HySecure Gateway

【メモ】

アップグレードログは、以下のファイルに出力されます。

このファイルは、パッチモジュールのアップロード完了後に作成されます。

/tmp/.upgrade.log

アップグレード処理に時間がかかっている等の場合には、

作業中のサーバへvpnsadminユーザにてSSH接続し、上記のアップロードログをご確認ください。

パッチ適用が完了した場合、ファイル末尾の数行あたりに以下のようなログが記録されます。

Format) {日付} {時刻} Hotfix {パッチファイル名} sucessfully applied

例)Tue Jun 11 15:27:31 JST 2026 Hotfix AH-OL9-CM-HF-7.3-96-21022026221003.hpat
successfully applied

[1] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=493>

[2] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=465>

[3] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=502>

[4] https://docs.accops.com/hysecure_7_3/common_pages/content_hysecure_deploying/about_upgrading_hysecure_cluster.html

Related Product, Service (公開)